

みたけ台小学校の

「コロナ禍の行事についての対応」について

現状を様々な観点から考えたときに、みたけ台小学校として「運動会」「宿泊行事」「土曜参観」「収穫祭・わら細工」を中止することとしました。

子どもたちの気持ちを考えると何とか実施したいという思いはもちろんありますが、感染者・クラスターが発生した場合には、休校を余儀なくされます。毎日の学校生活・学校の学びが何とか継続できている現状ですが、それができなくなります。

公的な補助費の活用などで経済的な補償は可能であり、また、様々な配慮・工夫で感染リスクを下げる事が可能なことがわかりました。しかし、リスクは下げられるが0にはならないことも事実です。感染者が出た場合に「感染者」と「母集団」の双方に十分な対応や安全確保ができるのかということシミュレートした時にリスクが大きいと本校としては判断しました。

また、データの的には子どもの感染の度合いは低いかもしれませんが、高齢の方・疾患を抱えている方が同居しているケースがあることも考慮しなければなりません。本校としては、「健康・安全・命」に関わることにに関して、大きなリスクを負って実施することはできないと考えます。

行事の実施についてみたけ台小学校として判断するにあたって、他の小中学校とも情報交換をしながら検討を重ねてきました。市内統一の判断ではなく、みたけ台小学校と異なる判断の学校もありますが、その判断を否定するものではなく、各校それぞれが苦渋の決断であることをご理解ください。よろしくお願いいたします。